CPG 産業版

2025年 スマート マニュファクチャリング 報告書

第 10 版

Rockwell Automation

expanding human possibility™

ようこそ

消費財 (CPG) 産業が、長期的なビジネスの成長を促進し、品質を改善し、リスクを低減し、生産能力を向上させ、労働力の課題に対処するために、どのようにスマートマニュファクチャリングと新興テクノロジを活用しているかをご紹介します。

Rockwell Automation

市場の急速な変化を受けて、CPG メーカは**品質を改善し、サイバーセキュリティリスクを低減し、プロセスを最適化**しなければならないという強いプレッシャーにさらされています。

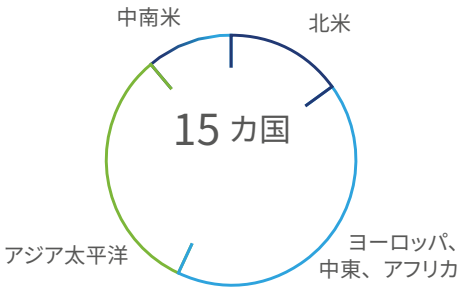
競争、インフレ、経済的な不確実性、継続的なサプライチェーンの混乱といった外的要因が引き続き成長の妨げとなっている一方で、多くの CPG メーカにとって労働力関連の問題は依然として重要ですが、二次的な懸念事項となっています。

この調査について

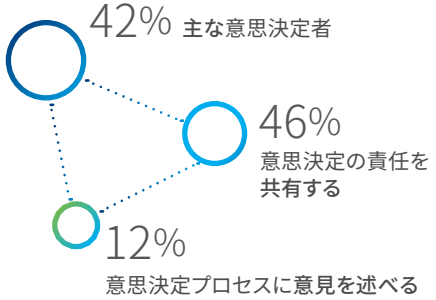
この報告書は、15 カ国の CPG メーカ、機械装置メーカ (OEM)、システムインテグレータ、およびエンジニアリング調達会社 (EPC) のマネージャや経営幹部 174 名から得られた回答に基づいています。

これは、ロックウェル・オートメーションの「第 10 回スマートマニュファクチャリング報告書」の一部であり、さまざまな業界の意思決定者 1,500 名以上を対象に調査を実施したものです。

地域別



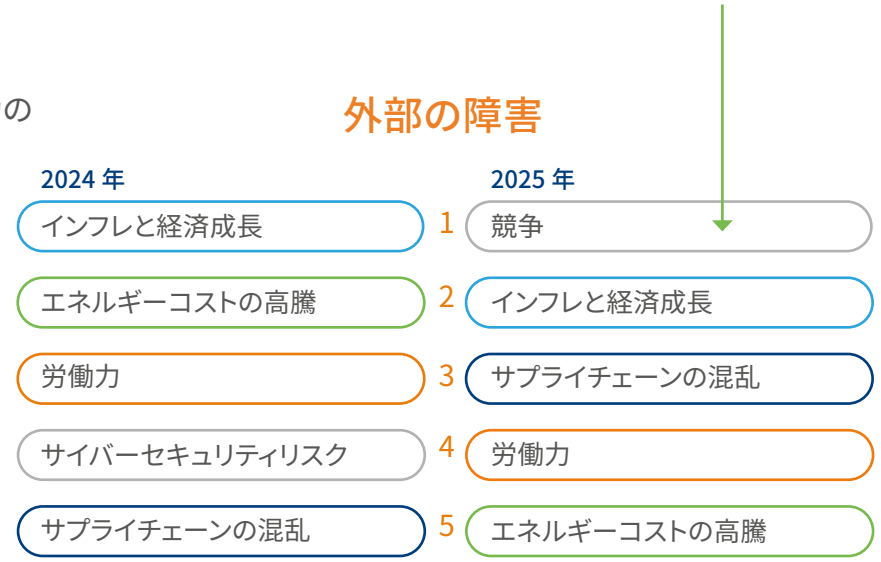
回答者の立場



CPG 産業の障害と今後の展望

CPG 産業のリーダの回答からは外部の課題の変化を読取ることができ、インフレと経済成長の課題を抑えて競争がトップに浮上しています。

競争は、2024 年には CPG メーカの上位 5 つの懸念事項にランクインしていませんでした。
競争がランクインした背景には、消費者行動の変化、プライベートブランドの影響の高まり、市場での価格および価値主導の強まりがあります。



内部的には、この業界はさまざまな課題に取り組んでいます。

主な課題は、従業員が効果的に使用できるテクノロジを見つけて実装することが困難だということです。
製造業の全雇用に対して CPG 産業の占める割合が大きいことを考えると、この懸念事項は他の業界よりも CPG メーカで特に深刻です。このことから、導入されるテクノロジと従業員の現在の能力にギャップがあるという、より広範な問題が浮き彫りとなっています。

35% 内部のリスクを低減するために スマートマニュファクチャリング 技術を採用している CPG メーカの割合

CPG 産業はデジタルトランスフォーメーションを重視

CPG 産業ではデジタルトランスフォーメーションの緊急性が高まっています。業界のリーダの大多数は、内外からのプレッシャーによって、よりスマートでレジリエントな運用の必要性が高まっていることを認識しています。

結果として、製造メーカは人工知能 (AI) や機械学習 (ML) などの機能、リアルタイムの資産の可視性、インライン品質モニタ、スケーラブルなインフラに焦点を合わせています。これらは、有意義なビジネス成果を生み出す可能性が最も高いテクノロジと見なされています。

CPG 産業のリーダがスマートマニュファクチャリングへの投資で達成しようとしている主なビジネス成果は、以下の通りです。

- 品質改善 (45%)
- コスト削減 (44%)
- 収益増加 (43%)
- リスク低減 (40%)
- 総合設備効率 (40%)

AI がテクノロジの最有力候補として存在感を増している

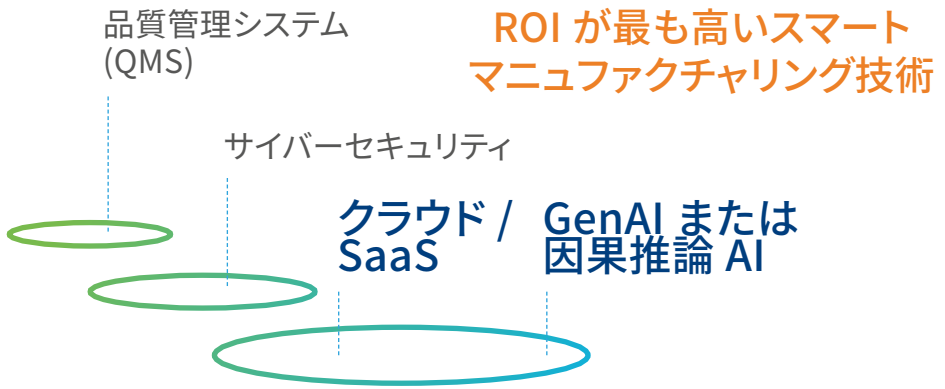
CPG メーカの技術投資をリードするのが、シミュレーションソフトウェアと AI です。

40% 今後 5 年間にデジタルツイン、シミュレーション、エミュレーションに投資することを計画している CPG メーカの割合

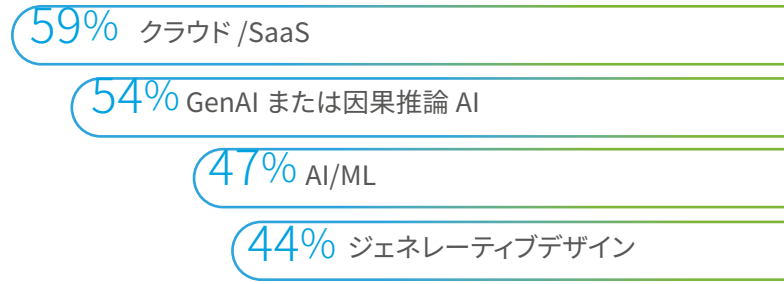
2025 年は、CPG メーカがデジタルトランスフォーメーションに割当てる予算がやや増えています。

CPG 産業は、データの戦略的価値を認識し、クラウドインフラを構築することで下準備を行なってきました。COVID によるパンデミックでクラウドベースのソリューションを採用する緊急性が高まったのは、メーカが混乱に直面する中でレジリエンスとアジリティ（俊敏性）を高めようとしていたためです。

投資環境は主に 2 つ観点からとらえることができます。それはクラウドやサイバーセキュリティなどのイネーブリングプラットフォームと、AI が最有力候補として存在感を増している特定のユースケースに対処する高度なテクノロジです。



CPG メーカが既に投資しているテクノロジ



長期的なビジネスの成長が主な推進要因となっている

技術投資決定の中心にあるのは考え方の転換です。

70% 技術投資の主な推進要因として長期的なビジネスの成長を挙げた CPG メーカの回答者の割合。これに続いて、拡張または生産能力の向上が 62% となっています。

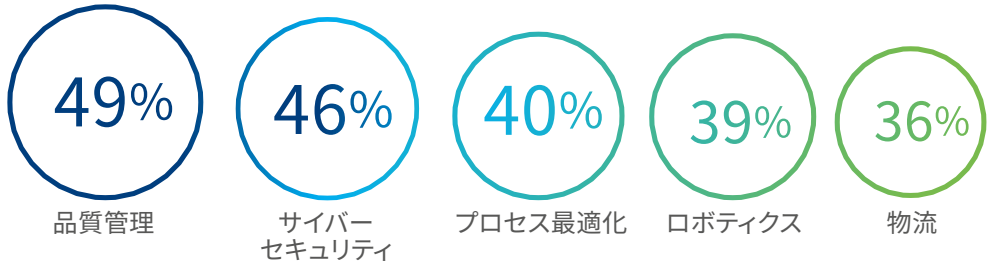
CPG 産業のリーダは、拡張性や効果が限られている短期間のパイロットにますます不満を抱いています。現在は、効果的なだけでなく、運用全体にわたって統合と拡張が容易なソリューションという、現実的なメリットが実証されたスマートマニュファクチャリング技術が重視されています。この転換はイノベーションに対する成熟したアプローチを反映しており、短期的な成果ではなく、サステナブルな成長と変革的な成果に重点が置かれています。

製造メーカがスマートテクノロジを使用して品質改善を目指すのは、特に消費者がより大きな価値を感じた場合に他のブランドに素早く乗り換える可能性のある競争の激しい市場では当然のことです。これを受けて、大手ブランドは、差別化を図りロイヤルティを維持するために主力製品に再投資して品質を改善しています。

品質に次いでコストが依然として重要な焦点となっています。コストを削減し、消費者と投資家のどちらの要求も満たす革新的な手段を求めている CPG メーカは、競争力と収益性を保護するためにオートメーションによる長期的なコスト削減戦略に目を向けています。

リスク低減は CPG メーカによって異なり、独自の処方を保護することが不可欠です。消費者の信頼を築くには何年もかかることがありますが、その信頼が一瞬で失われる可能性があるため、CPG 産業ではブランドエクイティがすべてです。まとめると、品質、コスト、およびリスク低減の優先順位は、CPG メーカが競争力を維持するための投資に対する将来を見据えたアプローチを反映しています。

今後 12 カ月間の AI/ML の主要用途



CPG 産業はデータ洞察のギャップを埋めるために AI を活用している

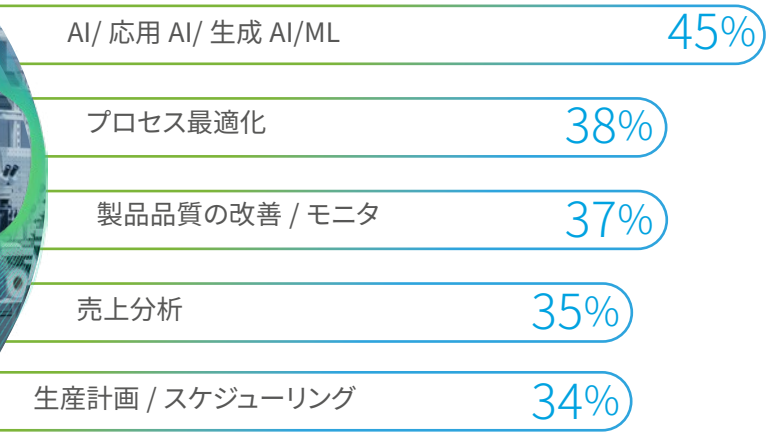
データの可用性の向上は、CPG メーカで AI の使用が増加していることと相関しています。

データ収集が CPG 産業全体に広がり続ける中で、製造メーカはデータをすべて理解し、競争上の優位性を獲得し、労働力を最適化し、長期的な成長を促進する AI にますます目を向けるようになっています。

44% 収集したデータを効果的に利用していると回答した割合

これらの調査結果は報告書の集計結果を反映していますが、CPG 産業ではこのデータを利用して AI の導入を実現したいと考えているメーカが多く、集計平均を 5% 上回っています。これらの調査結果は、AI に対するこの業界の強い関心と、競争上の優位性としてこのテクノロジに見出した価値を強調する一方で、メーカのデータ収集能力と、このデータを意思決定と運用改善のために活用する能力の間にギャップがあることを示唆しています。

収集されたデータの利用方法



CPG 産業は人材のギャップを埋めるためにテクノロジに対応できるスキルに注目している

2030 年 * までに、790 万人の労働力が不足すると予測されている

*Korn Ferry Study

CPG 産業のリーダは、ギャップを埋めるために AI/ML テクノロジ (44%) とオートメーションの推進 (43%) に目を向けています。

CPG 企業のリーダは以下も検討しています。

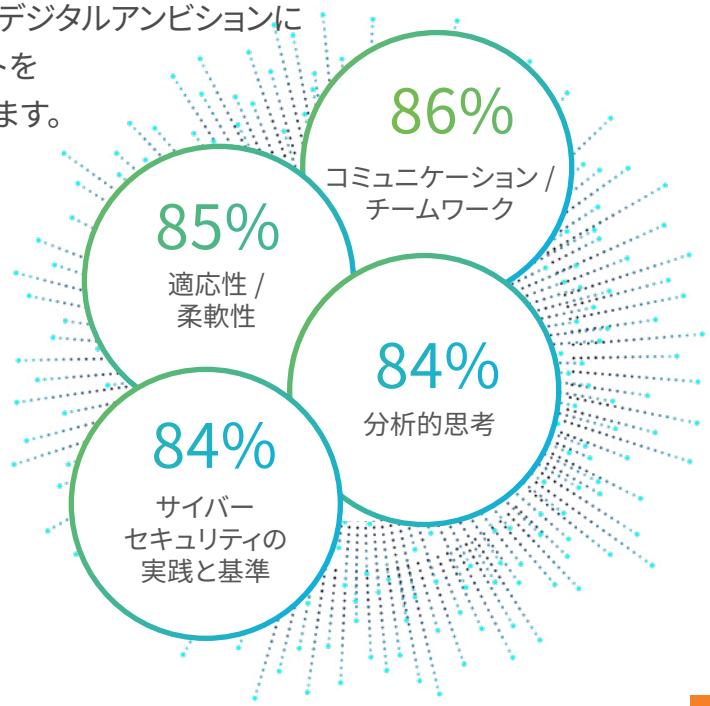
- 柔軟なスケジューリングの導入 (39%)
- テクノロジを追加 / 活用した、より魅力的な仕事の創出 (39%)

CPG メーカは引き続き、トレーニング、変更管理、定着といったおなじみの労働力の課題に直面していますが、それらを克服するための戦略は進化しています。

製造メーカは、デジタルトランスフォーメーションの成功は従業員をその導入過程に関与させることができるかどうかにかかってることを認識しているため、スキルアップが重要な焦点となっています。2025 年に予想される最大の労働力の課題は、最新のプロセスに対する従業員トレーニング (34%)、チーム全体の効果的な変更管理 (33%)、および従業員の定着率の向上 (33%) となっています。

この業界は、特に COVID によるパンデミック以降、従業員を引き付けて維持するのに苦労しています。CPG メーカは、手作業や反復作業への依存を最小限に抑えるオートメーションやデジタルソリューションに投資することで、これらの問題に対処しています。この転換により、AI、ロボティクス、サイバーセキュリティに関する高度な技術スキルを持つ人材の需要が高まっています。CPG メーカは、人材ギャップをリスクと見なすのではなく、デジタルアンビションに適合する新しいスキルセットを取り込む機会と見なしています。

CPG 企業の雇用主が人材に求める能力



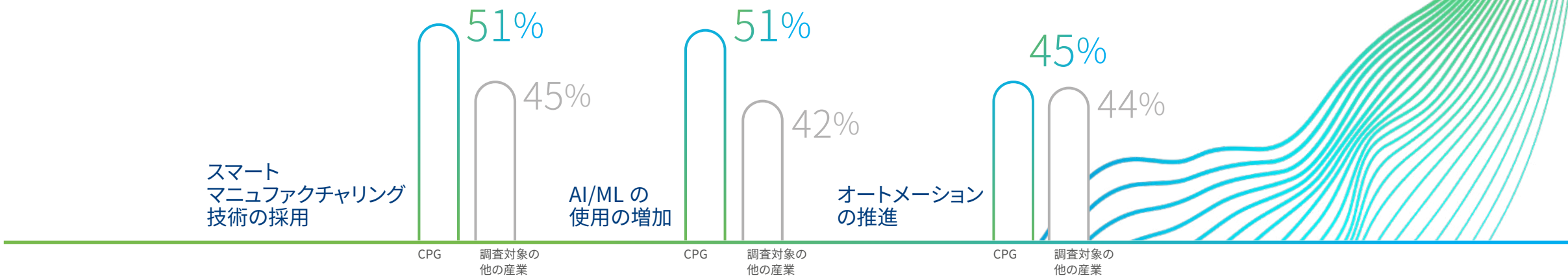
CPG メーカの未来

CPG メーカは、導入するテクノロジに適合するプロセスオートメーション、ロボティクス、およびデジタル化ツールに重点的に取組んでいます。

これらの洞察は、業界が大規模な変革の真っただ中にあることを反映しています。CPG メーカは、成功は人材、プロセス、およびテクノロジの統合にかかっていることを認識しており、この 3 つへの投資をすべて最適化して永続的な価値を引き出す方法を積極的に探っています。

CPG メーカは、AI の導入を実現したり AI を活用したりしながら、長期的なビジネスの成長をもたらす直感的でスケーラブルなソリューションについて総合的に考える必要があります。これにより、チームがより多くの SKU を引き受け、人材を引き付け / 定着させ、サイバーセキュリティリスクを低減し、さらにデータ駆動型でサステナブルな組織を構築するためのアジリティと簡素化を実現できます。

今後 5 年間に明確なビジネス成果を推進するための計画



Connect with us.

rockwellautomation.com — expanding **human possibility**®

AMERICAS: Rockwell Automation, 1201 South Second Street, Milwaukee, WI 53204-2496 USA, Tel: (1) 414.382.2000
EUROPE/MIDDLE EAST/AFRICA: Rockwell Automation NV, Pegasus Park, De Kleetlaan 12a, 1831 Diegem, Belgium, Tel: (32) 2 663 0600
ASIA PACIFIC: Rockwell Automation SEA Pte Ltd, 2 Corporation Road, #04-05, Main Lobby, Corporation Place, Singapore 618494, Tel: (65) 6510 6608
ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社　本社営業部 東京都中央区新川 1-3-17 新川三幸ビル・中部支店 名古屋市中区錦 1-6-5 名古屋錦シティビル・関西支店 大阪市淀川区宮原 4-1-14 住友生命新大阪北ビル・製品に関するお問い合わせ TEL: 03-3206-2784（カスタマケア）

Allen-Bradley および expanding human possibility は、Rockwell Automation, Inc. の商標です。
Rockwell Automation に属していない商標は、それぞれの企業が所有しています。

Publication INFO-BR029C-JA-P - June 2025
Copyright © 2025 Rockwell Automation, Inc. All Rights Reserved. Printed in USA.